

「精神神経医学講座臨床医学実習の教育効果に関する研究」に対する ご協力をお願い

— 2022 年 1 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日の間に、精神神経医学講座で臨床医学実習を受講された学生さんへ —

研究責任者	獨協医科大学	精神神経医学講座	講師	川俣 安史
研究分担者	獨協医科大学	精神神経医学講座	教授	古郡 規雄
研究分担者	獨協医科大学	精神神経医学講座	准教授	菅原 典夫

このたび当講座では、上記の期間に当講座で臨床医学実習を行った学生さんのアンケート情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる学生さんへの新たな負担は一切ありません。また学生さんのプライバシー保護については最善を尽くします。**本研究への協力を望まれない学生さんは、研究責任者または分担者までご連絡をお願いします。**

1. 研究の目的 及び 意義

医学生の臨床実習は、知識や技能のみならず、患者に対する態度や価値観の形成に重要な役割を果たします。特に精神科領域では、医療従事者の患者に対するスティグマ（偏見や差別）が診療の質に影響することが知られています。本研究では、医学実習前後および中間時点でのアンケート調査を通じて、精神科実習への満足度、学生のスティグマの変化、精神疾患に対する理解や態度の変化を明らかにすることを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022 年 1 月 1 日～2031 年 3 月 31 日の間に獨協医科大学精神神経医学講座において、臨床医学実習を受けられた学生 1000 名を研究対象とします。

2) 研究実施期間

2026 年 5 月倫理委員会承認後 ～ 2032 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記 1) の研究対象者について、研究者がアンケート情報に基づいて精神科実習への満足度、学生のスティグマの変化、精神疾患に対する理解や態度の変化に関する分析を行い、臨床実習の教育効果について調べます。

4) 使用する試料・情報

研究に使用する情報として、アンケート情報から以下の情報を抽出し使用いたします。

・実習の満足度、知識と自信、精神疾患に対するスティグマ、精神科治療に対する態度、興味をもった実習内容

5) 試料・情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後 5 年間保存いたします。なお、保存した情報を用いて新たな研究を

行う際は、精神神経科のホームページにてお知らせします。

6)研究成果の取扱い

この研究の成果は、プライバシー保護に細心の注意を払った上で、学会や論文で発表する予定ですのでご理解ください。

3. 問い合わせ・連絡先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて学生さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2032年3月31日までの間に下記にお申し出ください。この場合も学生の皆様に不利益が生じることはありません。

獨協医科大学 精神神経医学講座

研究責任者：川俣 安史

電話：0282-86-1111（平日：9時00分～17時00分）